

広報 いんざい

市制施行 20 周年特集

未来に向けて

新たな歴史を刻む



▲印西市制施行 10 周年記念式典 (平成 18 年 11 月 18 日)



▲印西市開市式 (平成 8 年 4 月 1 日)



▲1市2村(印西市、印旛村、本埜村)の合併による新「印西市」誕生 (本庁舎開庁式・平成22年3月23日)



住みよさを実感できる まちづくりを目指して

印西市議会議員 小川義人

市制施行20周年を迎え、心よりお祝い申し上げます。平成8年4月に町から市へと生まれ変わった印西市は、利根川・印旛沼・手賀沼といった豊かな自然に囲まれ、千葉ニュータウン事業による住宅開発や都心と成田空港の間という地理的な好条



これまでの長きにわたる市民のみなさまの深い郷土愛とためまぬ努力が、今日の本市の発展の礎となり、市制施行20周年という節目の年を迎えられたことに、心からお祝いを申し上げます。

これまでもの長きにわたる市民のみなさまの深い郷土愛とためまぬ努力が、今日の本市の発展の礎となり、市制施行20周年という節目の年を迎えられたことに、心からお祝いを申し上げます。

市民一人ひとりが輝く 北総の中核都市へ

印西市長 板倉正直

印西市は、平成8年4月1日に県下で31番目の市として誕生しました。その後、平成22年3月23日に2村と合併し、現在、人口9万5千人を有する市となりました。



市制施行 20 周年にあたり

件のほか、平成22年3月には印旛村・本埜村と合併し、人口9万5千人を擁するまちに成長しました。

今日までの20年は、社会・経済と変化の目まぐるしい日々でありましたが、先人の知恵やたゆまぬ努力により、厳しい状況を乗り越え、発展を遂げてまいりました。これまでの市勢の進展にご尽力いただいた諸先輩方、市民のみなさまに心より敬意を表しますとともに、深く感謝を申し上げます。

す。

本市は、東京と成田国際空港を結ぶ交通軸上に位置し、千葉ニュータウン事業をはじめとした都市基盤整備事業などにより発展を遂げてきました。

また、利根川や印旛沼、手賀沼などの水辺や里山などの豊かな自然環境に恵まれるとともに、先人たちが育んできた歴史や文化・伝統なども大切に受け継がれており、今後も、これらの地域資源や恵まれた立地条件を活かし人や企業に選ばれるまちと

社会情勢が日々変化している中、急激な少子高齢化や自然災害などがもたらす新たな課題が加わって来ています。印西市と同じく20年を迎えたわたくしども市議会も、諸課題に対し速やかに、かつ適切に対処するため、市民の声や衆知を集め、課題解決に向け、一層の自覚と責任をもって、真摯に取り組みます。

市民のみなさまが住みよさを実感できるよう、また、印西市への誇りと郷土愛を育めるまちづくりを推進するため、不断の努力をしてまいりますので、今後ともご支援とご協力をお願い申し上げます。

結びに、印西市の益々のご発展、市民みなさまのご健勝とご活躍を心よりお祈りいたします。

して、さらなる発展に結びつけていく必要があると考えています。

現在、本市は「ひと まち 自然 笑顔が輝く いんざい」を将来都市像と定め、6つの基本目標を掲げ、まちづくりを進めており、平成28年度は、第2次基本計画の初年度に当たる重要な時期となっております。

このような中、「世代を超えて未来を創る印西市」をキャッチフレーズとした市制施行20周年を契機とし、先人たちが築き上げたものを再認識するとともに、市民の視線を第一に、市民一人ひとりが輝く北総の中核都市「印西」を目指してさらに飛躍ができるよう取り組みたいと考えています。

今後とも、本市のさらなる発展のために、より一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。